

あ　と　が　き

昭和三十五年町誌の板碑の報告、それ以来、文化財調査会々員の立川愛雄氏（現文化財専門委員）による追跡調査と新発見の板碑集録が出されたのが昭和四十二年、そして、東京都内板碑精査の本年と三回に渡った調査を一かつして一冊の報告書にまとめ得たことで、市文化財の基本文献が新たに加わった感じである。それにしても、板碑の調査は六月から九月にかけて、暑い最中で、やぶ蚊とたたかいたがらの、拓本とり、写真、と大変な仕事にもかかわらず、精力的に活動いただいた、立川愛雄氏と田村光男氏に本当に感謝します。

文化財の基本的文献がきちんととのえられて行くことによって、多くの市民がさまざまなかたちで利用出来るでしょう。そのことによって、地元史の研究のための資料が広く一般に開放される契機になれば幸いと存じます。

なお、千々和美先生、山上茂樹氏にはいろいろとご教示いただき、特に梶敏夫氏には編集に当って適切な助言を頂きましたことを感謝いたします。ささやかな資料がこんご郷土文化の研究史料としてお役に立てば幸いです。（加藤有孝）

福生市文化財報告集 第二集

福生の板碑

昭和四十九年三月二十五日 印刷

昭和四十九年三月三十一日 発行

編集兼
発行 福生市教育委員会

印刷 昭和印刷株式会社

00491

